

## 第5回宗像市行財政改革推進委員会 議事録（要約）

日 時	平成 26 年 5 月 23 日（金）10 時 00 分～	会 場	302 会議室
委 員	■（会長）宗像 優 ■郷司 正和	■（副会長）山下 恵美子 ■相良 敬	□橋本 祐子（欠席） （敬称略）
市	■塔野経営企画課長 （事務局：経営企画課） ■立花 ■寺嶋 ■吉武		

### 1 開会あいさつ（会長）

### 2 事務局紹介

### 3 協議事項

#### ・行政経営改革プラン平成25年度実施結果について

事務局より全体の総括、個別プランの説明を行い、質疑応答。

#### ◆プラン全体について

【委員】市民にプランを公表するのであれば、この様式における表現では、資料として不足する部分が多いため効果の中身が見えにくい。数値化を含めたところで見せ方に工夫が必要ではないか。

⇒意見のとおり事務局で整理する。

#### ◆プランNo.5『効率的で戦略的な組織・機構の見直し』

【委員】機構改編については、事務局説明にあったとおり、「平成 27 年度の第二次総合計画に併せて大規模の組織改編があるために今回は見送った」など丁寧な説明があればよいのではないか。

⇒意見のとおり修正する。

#### ◆プランNo.8『文化行政の外部人材の活用』

【委員】ボランティアを養成し、その専門性を高くするといったことが目標なのか？また、学芸員が主体となっていくようになる見通しはあるか？

⇒目標についてはそのとおり。現在は体験学習については職員が主体で、学芸員が補助的な役割という状況であるため、今後は学芸員が主体となることを目標としている。平成 26 年度以降は個人の意識の向上や講座内容の充実を図る必要がある。

【委員】地域学芸員が、一年にどれくらいの人に関わるのかという目標はあるのか？学芸員のやりがい、満足度などを測る指標などがあればいいのでは？

⇒目標はない。指標については担当課と検討する。

#### ◆プランNo.10『育成型人事制度の確立』

【委員】達成度について総合的に評価しているが、年度ごとの目標に対する評価が必要ではないか。年度ごとに評価し、その結果から今後の課題を見出し改善するということが重要。そして最終的に総合的に評価すべき。

⇒意見のとおり単年度ごとの達成度とする。担当課と協議後Bに修正予定。

【委員】現状課題に「人件費の抑制」とあるが、全体の計画の中身が出てこないの、どのぐらいの人数を削減し、どれくらいの効果があったかがくみとれない。また、人数を減らしたが、実際それでよかったのかという評価も含めて単年度でわかりやすく表してほしい。

⇒意見のとおり見せ方を検討する。

#### ◆プランNo.17『市民モニターの検討』

【委員】達成度は「C」となっているが、広聴における様々な取り組みをしてきたということであれば、その内容を記載しておくとうわかりやすいのではないか。

⇒意見のとおり修正する。

#### ◆プランNo.30『政策形成過程の見直し』

【委員】達成度を選んだ理由について説明が足りない。また、平成25年度における都市戦略室の課題などはなかったのか？

⇒3役が集まって毎週会議を設け、事業の進捗管理を行うことで、スピーディな対応ができるようになったというのが一番の効果である。その一方で、課題としては、都市戦略室と市長とで話がされるため、関係部署との連携に課題が出てきた。今後は丁寧な調整を図っていく必要がある。

【委員】事務局説明のとおり「スピーディではあるが、他の組織との連携には課題がある」というようなことを達成度Bの理由として書いた方がわかりやすいのではないか。

⇒意見のとおり修正する。

#### ◆プランNo.34『公営住宅等長寿命化』

【委員】仮住居の移るときに十分対応できる戸数が確保されていたという考えでよいのか？

⇒順次、空き家等を活用しながら対応した。

#### ◆プランNo.38『大島開発総合センターの廃止』

【委員】当初は公募売却による利益も想定していたのか。

⇒当初は考えていたが売却には至らなかったため、防犯・防災上の観点から解体を決断した。

#### ◆プランNo.46『各課ホームページの充実』

【委員】ホームページ訪問者数とフェイスブックを合算したらどうか？

⇒今後はフェイスブックの「いいね」も見ながら判断していきたい。

#### ◆プランNo.61『コミュニティ施策と協働の推進』

【委員】達成度「B」の理由が不明瞭であるため、しっかり書いた方がよいのではないか。

⇒確かに取り組めたことばかり記載されているので、「B」の理由が分からない。できなかったことも記載する必要がある。ここでは、新たなコミュニティビジネスの成果なども見られなかったため「B」にしている。

#### ◆プランNo.74『税務課業務の一部外部委託』

【委員】おおよそどのくらいの効果が出るかということ把握していないのか？何か予想効果でもいいので発信することによりわかりやすくなるのではないのか。

⇒宗像市の職員の平均給与月額が43.9歳で約33万2千円。16人削減ということで、一日一人が応援に行くと考えると、給与は16日分に換算できるため、月額の約80%となり26万5千円となる。厳密ではないがそのような試算はできる。その記載方法については検討する。

#### ◆プランNo.75『市民サービス協働化提案制度の見直し』

【委員】協働に関しては、様々な課題があると思う。行政も市民もまだまだ学ぶことが多い。採択件数とかの数字ではなくて、意識改革が必要である。

⇒行政と市民が一体となっていく取組みを今後も続けていく必要がある。

#### ◆プランNo.99『国民健康保険税率の見直し』

【委員】政策上の判断と言う文言をわかりやすく説明した方がよい。

⇒政策上という記載が憶測を呼ぶような表現となっているため、「消費税の増税等様々な要因を鑑みて総合的に判断した」というような表現に変更する。

#### ◆プランNo.105『委託契約の見直し』

【委員】年次効果目標と実績のギャップが大きいですが、目標を見誤ったということか。

⇒目標額については、全委託契約の中から数%くらい出るのはないかという形で推計をしたが、無駄を実測したわけではないので、目標額が過大になってしまった。

#### ◆プランNo.107『補助金・負担金の見直し』

【委員】未着手であるが、補助金の必要性の有無についてチェックし、無駄の削減に取り組んでいくべきではないか。

⇒今までは補助金を個別にみて精査していたが、今後は施策全体から見通して、ダブリがないか、効果が薄いものはないか、何年も続いている補助金があるのではないかという視点も含めて、次期の行革大綱での見直しを検討する。

#### 4 その他

#### 5 閉会あいさつ（経営企画部長）